

コラム

# みやちゃん と ご一緒体験記

Vol.15

## 【新しい日常を生きる② ～子ども対策～】

6月23日時点、世界の新型コロナウイルスの感染状況は、(感染者数) 910万994人、(死者) 47万2539人。上位順位は、米国、ブラジル、ロシア、インド、英国、ペルー、チリ、スペイン、イタリア、イラン、フランスという結果です。世界経済を牽引する米国の感染者数は、231万2302人、死者は12万402人という圧倒的な結果となっており、米国のみならず世界的にも感染状況は決して下火とはいえないことを忘れてはなりません。

そうはいつても、経済を回さないといけないうし、自粛ばかりで家に閉じこもっているのは閉塞感でストレスを覚え身体の不調を訴える人が多くでています。

2月、横浜港に停泊していた大型クルーズ船でクラスターが発生し多くの感染者がでたことで、船の外からも次第に感染者が続出し、政府は全国すべての小中高校と特別支援学校に臨時休校を要請し、3月2日、多くの学校で休校開始となりました。時期的に卒業式や入学式を省略された子どもたちは、後になってこの時のことをどのように思い出すのでしょうか……。

あれから、3ヶ月後の6月1日、東京都内など分散登校で学校が再開されました。遊びたい盛りのも子どもたちは、学校にいて学ぶ時間や友人たちのおしゃべりの機会をうばわれ、さぞかしストレスフルな日々を送ったことでしょう。学校が再開されたとはいえ、教育の場でも生活様式の変化が求められているわけですので、コロナの時代のも子ども対策について考えてみました。

分散登校やオンライン授業が取り入れられている小中高校もあります。オンライン授業については、ご家庭の経済力の差が大きく影響し、オンライン授業に必要なIT機器(PCなど)をもっていない子どもが多くいて、それによって学力格差がでることも事実ですので対策が急がれます。

登校できても、おしゃべり・外遊びが禁止されたり、登下校は一人を推奨されたり、皆でワイワイ囲んで食べていたランチタイムは味気なくさっさと一人で食べることが強いられる。子どもに限らず、

コロナの時代は「遊びにいくなら屋内より屋外」とされていますが、あれこれ制約が多いのではどこに遊び場を見つけたらいいか困ってしまいます。友達との純粋な交流の機会が奪われてかわいそうに思うのは私だけでしょうか。

浅草の街角薬局（健康サポート薬局）で薬局長を勤めるみやちゃんは、子どもたちのためにも様々な取り組みを展開してきました。コロナとの闘いの過程における思いを紹介させていただきます。



\*\*\*\*\* 2020年5月23日 宮原富士子FB \*\*\*\*\*

**【学校9月始まり議論も大事なかもしれないけど、教える内容を今回の教訓から根本的に見直すことも必要】⇒【学校教育の中身に現実的なものを取り入れてゆこう】@がんばれ現場の教師たち**

コロナ禍でにわかに9月始まりが議論されていますが、それよりも今の子どもたちへの今年来年の対応を先に議論してほしいと思う一市民の考えです。何かあると制度が先に議論になるのは、どうも日本の良くないところだろうと思います。それより、今回のコロナ禍で大人が学び、体験し、気づいたことはたくさんありました。たとえば、今やマスクづくりは家庭や地域や職域で当たり前のように広がりました。手洗いなどウイルス・感染防御対策はもちろんです。うがいもです。そして、家での家庭ごはんについても何とかテイクアウトを含めてみんなやりこなしています。洗濯とかコインランドリーの使い方もです。そして不活化にならないような体操もその年代に合わせてネットでみたりラジオ体操をする高齢者や一般市民も増えています。音楽もStayHomeにおいてプロの努力でプロの音楽が聴けるようになっていきます。つまり、小さい時からおしえていく、生活・公衆衛生・文化・芸術のようなものが濃縮して自ら学べるような必要を身に着けることがコロナ災禍を機会に必要な迫られて広まったのです。であれば、

**【家庭科】** 簡単な調理から少しおしゃれな料理まで、マスクづくりで裁縫、

掃除の仕方、洗濯の仕方、より良い家庭のために

**【体育】** ラジオ体操から若者向け有名人とのダンスや踊り??

**【保健】** これこそ プレコンセプションケア 病気について 薬について

**【生活】** 公衆衛生から地域の社会資源

**【文化芸術】** 音楽 お花 美術 そのほか芸術に関わる WEB情報

**【情報】** もちろん WEB活用の授業とか ネット情報の検索と判断

**【がんと向き合い方】** がん哲学?

いままで、いわゆる受験勉強に集中していた偏った日本の教育のあり方を変えるチャンス。中身を必要なものにマイナーチェンジするだけで「生きる力」「人間力」を備える教育ができるのだと思います。そういう議論をしてほしいなと思います。

今のカリキュラムでも題材・中身をそこにシフトすればできるものです。そういう発想をもって工夫する市町村や私学の学校がきっと出てくると思います。期待したいです。

\*\*\*\*\*

世界有数の高齢社会で、検査数も他国とくらべて少なかったにもかかわらず、人口百万人あたりの死者数がきわだって少ない日本は、他国から「新型コロナのミステリーのひとつ」として驚きをもって紹介されました。生活習慣や従順な国民性が功を奏したという見方が強いですが、子どもは未来の宝。将来を担う「未来の大人」たちの人格形成に必要な時間を有意義にするために、できることを考えていかなければなりませんよね。

